

武田 哲英 東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所長に聞く



三陸沿岸道路や釜石自動車道をはじめ、国道45号の延長323kmの管理などを担う東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所の2代目所長に武田哲英氏が就任した。アクセス強化へハーフICの歌津北ICに北方向の乗り降りを整備しフル化を図るほか、米崎地区と川向地区の歩道整備、権現堂交差点改良、大船渡市内で電線共同溝整備などの促進を図る。武田哲英所長に事業の取り組み状況などを伺った。

就任の抱負をお願いします

武田 東日本大震災後、約10年の超短期スパンで開通した復興道路・復興支援道路ですが、予算の集中投資や全国からの派遣職員の応援、さらに業界を挙げてのマネジメント支援、建設支援という過去に例を見ない取り組みにより整備されたという経緯があります。整備後の次のステージとしてその成果を示すというのはもちろんですが、復興道路・復興支援道路の機能や役割をもっと全国に発信していきたいと考えています。発信することが地方の高速道路の良い事例の育成であり、全国の関係者への恩返しになると考えています。復興事業の最盛期、2016・17年に三陸国道事務所の工務第一課長として復興道路の事業を進めてきました。全線

開通した今回、赴任して思うのは、当時の色々な苦勞を思い出すとともに復興道路事業にご尽力いただいた地域の方、工事関係者などの皆さまへの感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度の主な事業について伺います

武田 21年4月に南三陸沿岸国道事務所が新設され、今年で3年目。私で2代目の所長となります。国道45号の交通安全対策や電線共同溝、三陸沿岸道路と釜石自動車道の維持管理を担う事務所となっています。三陸道や釜石道の自動車専用道路の管理延長が240kmと長く、道路の適切な管理と安全な交通確保が重要となります。災害や事故の発

生に対して迅速に対処するということが大切ですので、役割分担という事前の準備や関係機関との密な連絡体制を進めていきたいと考えています。

改築事業では、災害時における緊急輸送道路の確保、物流支援等アクセス強化のため、三陸道の歌津北ICに北方向の乗り降りを整備する調査設計および改良工事を行います。安全・安心に通行できる空間の確保として陸前高田市の米崎地区と川向地区で歩道整備を実施します。本年度は両地区とも調査設計および用地買収を進めます。また、大船渡市の権現堂交差点の交差点改良を行うため、調査設計および用地買収を実施するほか、電線共同溝整備として大船渡地区が調査設計、支障物移転、



↑歌津北IC

本体工事を、立根地区は調査設計、支障物移設を行います。

さらに安全対策として三陸道や釜石道の2車線区間において、昨年度までワイヤロープを設置してきましたが、さらなる安全対策として今後、路面標示や視線誘導などの対策を施し、事故の低減を図っていきます。

今後の取り組みについては

武田 復興道路・復興支援道路の全線開通から1年半が経過した中で、沿岸部の三陸沿岸道路と国道45号の交通量を合わせた断面交通が増加しており、その流動の活発化が見られます。一方、利便性が高まるとスロー効果や人口流出という懸念されます。復興道路・復興支援道路を最大限活用していただくため地域の関係機関と一体となって、新たな広域連携や交流の推進を図って、地域活性化の利活用策に取り組んでいきたいと考えています。全国やさらに世界の多くの方々に被災地に訪れてもらうという点でも震災伝承というキーワードもありますが、震災伝承と併せた復興道路の価値を活かす学びの周遊観光というものを関係機関と連携して進めていけたらと思います。

仕事をしていく上で大切にしていることは

武田 相手が話したいことや伝えたいことを真摯に受け止め、共感的な態度で理解に務める聞き方である傾聴を心がけています。傾聴は、仕事の効率にも好ましい影響を与えますので、良好な信頼関係と風通しの良い職場にしていきたい。

また、職場内でも業務効率化のためIT化が進んでいます。テレワーク、資料作成、決済や報告、情報連絡などにデジタルツールを取り入れることで利便性が上がり、あらゆる業務をスムーズに遂行できるようになります。その反面、部下・上司間やチーム内での対面コミュニケーション不足に陥りやすく、職員のモチベーションの低下や生産性の低下を抱えることとなります。そのため、「何気ないコ

ミュニケーション」の場がとれる工夫を探っていきたいと思っています。

建設業界へのメッセージをお願いします

武田 がれきに覆われた沿岸部で道路啓開から始まった復旧・復興は、自らも被災者でありながら、建設業界の多くの人々の尽力で進められてきました。特に復興道路・復興支援道路は過去に例を見ないスピードで事業が進み、約10年で全線開通となりました。改めて建設業界の皆さまに感謝申し上げます。

災害時の迅速な対応、そして通常時の整備や維持管理など、「地域の守り手」である建設業の担い手確保は重要です。事務所においても、働き方改革の推進として週休2日工事、生産性向上の推進のためのICT活用工事など積極的に取り組んでいきたい。また、震災伝承の取り組みにおいても、地域建設業が果たした重要な役割をさまざまな場所で紹介し伝えていきたいと思っています。

ありがとうございました



↑大船渡地区電線共同溝

国土交通省 発注者支援業務等を通じ
"美しきふるさと東北"の発展に寄与いたします。

株式会社 岩手パブリック

代表取締役 佐藤 慶亀

本社 / 〒020-0114 盛岡市高松2-14-28
TEL.019(601)7305
営業所 / 宮古・秋田
http://www.ipublic.co.jp/

感謝 創業60周年 ~Reborn~

株式会社 菊池技研コンサルタント

代表取締役 菊池 透

本社 / 岩手県大船渡市赤崎町字石橋前6番地8
TEL: 0192(27)0835・FAX: 0192(27)0836

情報通信・電気設備・音響・映像・制御システム

北日本通信株式会社

代表取締役 瀬川 純

本社 / 盛岡市本町通3-20-6
TEL.019(652)5000 FAX.019(652)3266
久慈営業所 / 岩手県久慈市長内町37-18-10
TEL.0194(66)9991 FAX.0194(66)9986
仙台営業所 / 仙台市青葉区本町1-13-32
TEL.022(224)2721 FAX.022(224)2722

新日本工営株式会社

SNK

代表取締役 小林 和雄

本社 / 〒025-0036 岩手県花巻市中根子字堂前4番地1
TEL.0198(23)5095 FAX.0198(23)1150

株式会社 テラ

遠野 テラ

明るい未来を創造する技術集団

南部電気工事株式会社

代表取締役社長 太田 喜直

本社 / 〒024-0052 岩手県北上市大堤北一丁目2番1号
TEL.0197(67)5252 FAX.0197(67)5326
営業所 / 一関